



短歌ブームに思う

美幌町図書館長 竹花 史康

今、学生時代のからインターネットの環境の中
トやパソコンで育ってきた世代、いわゆるZ世代
で育つようになった世代です。つい最近、NHK
のクロージングアップ現代でも特集
されていました。

その理由について、東洋大学「現代学生百人一首」選考委員の高柳祐子准教授によると、「気軽に挑戦できる長さという点で、SNSと短歌は似ている気がします。短い文章に慣れたZ世代と、三十一文字で自分の思いを表現できる短歌は親和性が高いのかもしれない」と述べています。

また、伝統的な和歌が個性よりも調和や伝統を重んじるのに対し、現代短歌は個人の体験や感性を織り込んでいるのが特徴とされています。そこで、春をテーマにした、現代短歌と伝統的な和歌

の作品を紹介したいと思います。

ハグをしてそれぞれの道をいつかまた
それでも春を嫌いになれない
旭川実業高等学校1年 吉田可琳

久方の光のどけき春の日に
しづ心なく花の散るらむ
百人一首 紀友則(きのともり)

若い人の短歌は、ストレートでわかりやすく、そのことが共感されているのかもしれませんが。ちなみに、紀友則の解釈はというと、「光ののどかな春の日に、桜の花はどうしてこんなにも落ちていた心もなく散っていくのだろう」で、古て風でたしかにすてきな短歌です。



1月の図書館利用状況

来館者	3,450人 (前年比 +129)
開館日数	21日
一般の貸出冊数	5,469冊
児童の貸出冊数	4,012冊
合計貸出冊数	9,481冊 (前年比 -296)



あなたのとおきの一冊が見つかりますように！

4月の主な予定

- 4日(火)～16日(日)
本の無償譲渡
- 6日(木)、20日(木)
おはなしのへや
- 13日(木)、27日(木)
絵本とあそぼ
- 14日(金)
お楽しみ文学館
- 15日(土)
レコードコンサート
- 18日(火)～23日(日)
新聞の無償譲渡
- 21日(金)
図書館ボランティアの日
- 22日(土)
おはなしと工作のひろば
- 23日(日)～5月12日(金)
絵本展示

休館日

3日、10日、17日
24日、28日、29日

